

平成28年度の震災復興関連業務への支援状況について

<市長コメント>

平成28年度は、報道にもありますとおり、全国的に地方版総合戦略の策定、一億総活躍社会の実現に向け、各自治体においても業務が増大する中にもかかわらず、68団体（1都、3県、5特別区、57市、2町）から198人の職員派遣をいただいております。

また、民間企業からも7社8人、そして復興庁からも復興支援員として12人の職員派遣をいただくこととなりました。

本市の復興事業は、平成28年度、平成29年度が正念場と考えておりますが、そのような状況にご理解を賜り、貴重な人材を派遣していただくことに対しまして、心から感謝申し上げますとともに、報恩感謝（ほうおんかんしゃ）の念を忘れず、復興を加速し、成し遂げなければならないと決意を新たにしております。

震災から5年を経過する中で、各地で地震や洪水等の被害も発生しており、全国自治体からの支援も厳しい状況となっておりますが、それでも今年度、札幌市、石狩市、台東区、諏訪市からの新たな支援もいただいております。

今後も、あらゆるチャンネルを活用しながら、復興状況をアピールし、人材の確保に努めてまいりたいと考えております。

※報恩感謝 受けためぐみや恩に報いようと感謝の気持ちを持つこと